

いずよう魅力化協議会だより

No.2 令和7年11月7日 島根県立出雲養護学校

10月23日（木）に、令和7年度第2回いずよう魅力化協議会を開催しました。今回は今年度の重点目標の中間評価について説明を行いました。その後、「これからの『地域で生きる人になる』を語ろう～今年度の取組から」をテーマに、地域と連携した教育活動の実践報告を紹介した後、グループに分かれて協議を行いました。

第2回いずよう魅力化協議会の様子

今年度の重点目標の中間反省について、大地本教頭より説明があり、各部署での成果や課題について報告しました。今後に向けては、学部と分教室との連携や協力体制について検討していく必要性について話をしました。



「これからの『地域で生きる人になる』を語ろう」をテーマに、今年度の地域と連携した教育活動の実践報告をしました。本校が目指す地域との連携について説明したり、各学部や分教室等の実践について紹介したりしました。



<グループ協議について>

グループトークでは、①学校と共に取り組みそうな地域のニーズや課題とは、②実践紹介を踏まえ、「児童生徒の力を伸ばすために地域と連携できることは」という視点で、委員の皆様と協議を行いました。



<各グループから出た意見等について>

① 学校と共に取り組みそうな地域のニーズや課題

- ・ 少子高齢化、人口減少、人材不足、後継者不足、防災関連の課題がある。
- ・ 伝統文化の継承（吉兆神事等の祭り、神楽、昔の遊び、出雲弁）に貢献してほしい。
- ・ 環境保全（海ごみ、石見銀山）、有害鳥獣対策に協力してほしい。

② 児童生徒の力を伸ばすために地域と連携できること

- ・ 合同避難訓練、災害時の高齢者支援等
- ・ 高齢者サロンでの交流、一人暮らしの高齢者支援、幼稚園・保育園での交流等
- ・ 神楽や銭太鼓の体験、学習したことを発表する機会
- ・ 農業体験、農業用ハウスの再利用

このようなご意見を参考に、今後も地域の方々とつながりながら学びを深めていきます。

「出養の子どもたちと一緒に活動することで、いいところだけでなく、苦手なことや難しいことについても知ってほしい。」という想いを語られた委員さん。そんな“つながり”を求めて、委員の皆様と共に考えていきたいと思っています。

第3回のいずよう魅力化協議会は2月頃を予定しています。HP 等でお知らせします。